



ブラ さやま



本市は東西約 2.4 km、南北約 7 km、面積 11.92 km 「さやま」の地名は 東の羽曳野陵、西は泉北丘陵に挟まれた起伏の小さな なたらかな地形に由来しています。古事記、日本書紀、枕草子にも狭山・狭山池として登場する由緒ある地名です。

地形に関すること、狭山池のこと、古代からの歴史のこと、など調べました。多くの資料が南北朝時代の戦禍で焼失しています。残っている古文書などから狭山の人々が連綿と築き繋いで来たものを資料から立ち上らせ、スポットを当てたいと企画しました。

第5回 ブラさやま「野田城・池尻城・半田城、三城址巡り」

～ 南北朝時代に^{おも}憶いを馳せ、いにしへの狭山、城址巡り ～

大阪府は摂津、河内、和泉、の三国からなり、さらに河内国は北河内、中河内、南河内に三区
分されます。河内は鎌倉時代末期に南河内の豪族楠木正成とその一族が下赤坂城・上赤坂
城・千早城に立てこもり幕府打倒のため蜂起したことから主戦場となりました。室町時代
になると河内の守護は、三官領のひとり畠山氏となり、養子の畠山政長と実子の畠山義就が争い
河内は、その争奪の舞台となりました。その後も三好氏の台頭を経て、織田信長の上洛を迎え
るまでの間生駒の山裾には多くの城館や砦が築かれ日本史の表舞台を飾る遺跡が多く見られ
ます。

大阪府教育委員会ではこれらの歴史的に重要な遺跡について計画的に
保護し活用をはかるべく中世城館の調査を計画し平成 18 年、19 年の 2 年で南河内の中世城館
について調査を実施いたしました。

(大阪府教育委員会、文化財保護課長名の発掘調査資料はしがき より転載)

記

日時 9月18日(木) 9:30(集合) ～14:45頃(解散) 金剛駅

集合 南海、北野田駅、改札口付近 【全行程約 5,5Km】

参加費 200円 ☆弁当・水筒をご持参下さい 雨天決行

申込み さやか観光会 高橋 携帯・090-1224-3505